

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公表番号】特表2009-522854(P2009-522854A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-548542(P2008-548542)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月7日(2009.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

双方向メディアガイダンスアプリケーションにおいてチャンネルグループを提供するための方法であって、

複数のメディアチャンネルを含むチャンネルグループを定義することであって、前記複数のメディアチャンネルは、ユーザ機器によって受信される前記メディアチャンネルのサブセットである、ことと、

前記チャンネルグループに関する情報を提供することであって、前記情報は、前記複数のメディアチャンネルのメディアリストを含む、ことと、

ユーザコマンドを受信し、前記チャンネルグループにおいて前記ガイダンスアプリケーションの機能を起動することと、

前記ユーザコマンドに応じて、前記チャンネルグループにおいて前記機能を実行することと

を含む、方法。

【請求項2】

前記機能を実行することは、前記複数のメディアチャンネルのそれぞれにおいて前記機能を実行することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ユーザコマンドを受信し、機能を起動することは、ユーザコマンドを受信し、1つ以上の選択されたチャンネルグループにおいて機能を起動することを含み、前記機能を実行することは、前記1つ以上の選択されたチャンネルグループに属する前記複数のメディアチャンネルにおいて前記機能を実行することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

チャンネルグループを提供するための双方向メディアガイダンスシステムであって、回路上に少なくとも部分的に実装される双方向メディアガイダンスアプリケーションを備え、該双方向メディアガイダンスアプリケーションは、

複数のメディアチャンネルを含むチャンネルグループを定義することであって、前記複数のメディアチャンネルは、ユーザ機器によって受信される前記メディアチャンネルのサブセットである、ことと、

前記チャンネルグループにおいて情報を提供することであって、前記情報は、前記複数

のメディアチャンネルのメディアリストを含む、ことと、

ユーザコマンドを受信し、前記チャンネルグループにおいて前記ガイダンスアプリケーションの機能を起動することと、

前記ユーザコマンドに応じて、前記チャンネルグループにおいて前記機能を実行することと

を行うように構成される、システム。

【請求項 5】

前記機能を実行するように構成される前記回路は、前記複数のメディアチャンネルのそれぞれにおいて前記機能を実行するようにさらに構成される、請求項4に記載のシステム。

【請求項 6】

ユーザコマンドを受信し、機能を起動するように構成される前記回路は、ユーザコマンドを受信し、1つ以上の選択されたチャンネルグループにおいて機能を起動するようにさらに構成され、

前記機能を実行するように構成される前記回路は、前記1つ以上の選択されたチャンネルグループに属する前記複数のメディアチャンネルにおいて前記機能を実行するようにさらに構成される、請求項4に記載のシステム。